

令和2年度 教育委員会の主な活動

1 教育委員会会議

教育委員会の会議には、定例会と臨時会があり、定例会は月1回、臨時会は必要に応じて開催する。会議においては、教育委員会の議決事項についての審議、教育長への委任事務、専決事務に係る重要案件等についての報告のほか、事務局から各種事業の進捗状況をはじめ、学校等に関する様々な情報を教育委員会に提供するとともに、課題に関する協議・相談の場を設けている。

なお、緊急案件等が生じた際の委員への情報提供に関しては、会議の場での報告に留まらず、電話やメール等による迅速な伝達に努めている。

(1) 開催回数

19回（定例会12回・臨時会7回）

※この他に教育委員会協議会を18回開催。（協議会については8ページに記載）

(2) 審議の状況

地教行法第21条に規定される教育委員会の職務権限に係る事項について、令和2年度は42件の議案の審議を行った。

各議案の静岡市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成29年静岡市教育委員会規則第2号）第2条に基づく分類は、以下のとおりである。



教育委員会定例会

①：教育に関する事務の管理及び執行に関する基本的な方針に関すること	0件
②：教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	6件
③：教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	0件
④：教育委員会及びその所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	11件
⑤：地教行法第26条の規定による点検及び評価に関すること	1件
⑥：地教行法第27条第1項及び第2項（幼保連携型認定こども園関係）並びに地教行法第29条（議会の議決を経るべき案件）に規定する意見の申出に関すること	15件
⑦：教科用図書採択に関すること	3件
⑧：通学区域の設定及び変更に関すること	1件
⑨：社会教育委員及び附属機関（法律に定めるものに限る）の委員の委嘱及び解職並びに任命及び解任に関すること ※「報告」案件	1件
⑩：その他	5件

(3) 教育委員会議案・報告事項一覧

※「分類」は上記 1 (2) の「審議の状況」①～⑩に対応

会議開催日	区分	番号	件名	分類
4月7日 (臨時会)	議案	1	静岡市立の小学校、中学校及び高等学校の一斉臨時休業について	⑩
4月17日 (定例会)	議案	2	静岡市立の小学校、中学校及び高等学校の一斉臨時休業の延長について	⑩
	報告	1	委員の解任及び任命について（静岡市スポーツ推進審議会委員）	⑨
4月24日 (臨時会)	報告	2	教育長職務代理者の指名について	—
5月15日 (臨時会)	議案	3	専決の報告及びその承認について（静岡市立の小学校、中学校及び高等学校の一斉臨時休業について）	⑩
	議案	4	静岡市立の小学校、中学校及び高等学校の一斉臨時休業について	⑩
5月18日 (定例会)	議案	5	令和3年度使用 静岡市立中学校教科用図書の採択基本方針の策定について	⑦
	議案	6	教職員の人事について	④
5月29日 (臨時会)	議案	7	令和2年度補正予算案について	⑥
	議案	8	静岡市立学校の教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部改正について	⑥
	議案	9	教育委員会職員の人事について	④
6月19日 (定例会)	報告	3	令和3年度使用 静岡市立の中学校教科用図書の採択に関する諮問について	—
7月27日 (定例会)	議案	10	令和3年度使用 静岡市立の中学校用「全ての教科」教科用図書の採択について	⑦
	議案	11	令和3年度使用 静岡市立の高等学校用教科用図書の採択について	⑦
8月21日 (定例会)	議案	12	教育委員会の点検・評価について	⑤
	議案	13	静岡市立学校の教育職員の給与等に関する特別措置条例施行規則の一部改正について	②
	議案	14	令和2年度補正予算案について	⑥
	議案	15	学習用情報端末の購入について	⑥

	その他	1	中央図書館大規模改修に伴う休館について	-
9月3日 (定例会)	議案	16	幼保連携型認定こども園の廃止について	⑥
	その他	1	静岡市指定文化財（天然記念物）の指定について	-
10月19日 (定例会)	議案	17	令和2年度補正予算案について	⑥
	議案	18	工事請負契約の締結について	⑥
	議案	19	令和3年度当初予算案について	⑥
	議案	20	令和2年度末教育職員（小学校・中学校）の人事異動方針について	④
10月29日 (臨時会)	議案	21	静岡市立高等学校学則の一部改正について	②
11月5日 (定例会)	議案	22	「静岡市教育公務員の懲戒処分に関する指針」の一部改正について	④
11月26日 (臨時会)	議案	23	専決の報告及びその承認について（令和2年度補正予算について）	⑩
	議案	24	教職員の人事について	④
12月25日 (定例会)	報告	4	静岡市立小学校及び中学校の通学区域の変更に関する諮問について	-
1月19日 (定例会)	議案	25	通学区域の変更について	⑧
	議案	26	静岡市立学校等グラウンド夜間照明施設条例の一部改正について	⑥
	議案	27	静岡市中央体育館、静岡市東部体育館、静岡市北部体育館、静岡市南部体育館、静岡市長田体育館、静岡市蒲原体育館、静岡市西ヶ谷総合運動場、静岡市清水総合運動場並びに清水清見潟公園体育館、室内プール及びトレーニング室の指定管理者の指定について	⑥
	議案	28	静岡市清水ナショナルトレーニングセンター、静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド、静岡市清水庵原球場並びに清水日本平運動公園球技場及び庭球場の指定管理者の指定について	⑥
	議案	29	静岡市城北運動場、静岡市清水長崎新田スポーツ広場、静岡市有度山総合公園運動施設テニスコート及び静岡市有度山総合公園運動施設ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフ場の指定管理者の指定について	⑥
	議案	30	静岡市立学校設置条例の一部改正について	⑥

2月4日 (定例会)	議案	31	静岡市職員定数条例の一部改正について	⑥
	議案	32	令和2年度補正予算案について	⑥
	議案	33	教職員の人事について	④
	報告	5	令和3年度当初予算案について	—
	報告	6	校長、教頭の登用について	—
	議案	34	静岡市教育センター処務規則の一部改正について	②
3月11日 (臨時会)	議案	35	教育委員会職員の人事について	④
	議案	36	教育職員（指導主事）の人事について	④
	議案	37	教育職員（高等学校）の人事について	④
	議案	38	教育職員（小学校・中学校）の人事について	④
	議案	39	令和2年度条件付採用教員の正式採用について	④
	議案	40	静岡市教育委員会公印規則の一部改正について	②
3月25日 (定例会)	議案	41	静岡市教職員住宅管理規則の一部改正について	②
	議案	42	静岡市立小学校及び中学校の教育職員等のへき地手当に関する規則の一部改正について	②
	報告	7	令和3年度静岡市立高等学校における入学者選抜の結果について	—
	その他	1	令和2年度 校長の人事評価結果について	—
	その他	2	体罰等に関する調査の結果について	—

2 教育委員会会議以外の活動

教育委員会は、前記の会議のほか、教育課題に関する研究や学校現場の視察など、様々な活動に取り組んでいる。令和2年度の主な活動は、次のとおりである。

(1) 教育委員会協議会

教育行政に関する研究や喫緊の課題への対応等を目的に、協議会を開催している。平成25年度からは、それ以前の毎月1回から毎月2回に回数を増やし、さらに、必要に応じて臨時の協議会を開催している。令和2年度の実績は、18回である。

協議会では、教育委員が自ら行った調査研究に基づいて、情報や意見を交換し合うほか、事務局からの情報を基にした協議、関係者を招いての協議を行っている。

【令和2年度協議内容】

回数	開催日	研究課題等
1	4月17日	・一斉臨時休業中の学校の状況について
2	4月24日	・教育委員会の点検・評価について ・一斉臨時休業中の学校の状況について
3	5月18日	・特別支援学校在籍児童の就学の状況について ・学習定着に支援が必要な児童生徒への補足的な学習指導事業について
4	5月29日	・令和2年度 総合教育会議について ・蒲原地区学校統合の要望について
5	6月11日	・小中学校児童生徒への心身のケアにかかるアンケートの実施について ・令和2年度総合教育会議 協議テーマについて ・令和2年度教育委員会点検・評価について
6	6月19日	・令和2年度総合教育会議 協議テーマについて ・児童・生徒数の推計について ・新型コロナウイルス感染症罹患が発生した場合の対応について ・管理職登用選考 2次試験（面接試験）について
7	7月9日 7月10日	・教科書採択に伴う勉強会
8	7月22日	・令和2年度 第1回総合教育会議について ・ダンスフェスティバル in SDGs コレクションについて ・令和3年度静岡市立の高等学校入学者選抜について ・令和3年度使用 静岡市立の高等学校用教科用図書の採択について ・令和3年度使用 静岡市立中学校教科用図書の採択について

9	8月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保連携型認定こども園の廃止について ・学校再開後のからだところのアンケート集計結果・学校における新しい生活様式の標準Ver2について ・補充学習による学びサポート事業の実施について
10	9月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度総合教育会議に係る「ICTを活用した教育」勉強会について
11	9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 第2回総合教育会議について
12	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の適正規模・適正配置化に向けた取組について
13	11月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の適正規模・適正配置化に向けた取組について ・令和2年度 給与改定に伴う予算の減額補正について ・いじめ重大事態の報告について ・学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について ・令和3年度 特別支援学級の新設について
14	11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の適正規模・適正配置化に向けた取組について ・“学校・地域 ひとつなぎ” コーディネーター養成講座 公開講座 移動教育委員会について
15	12月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡市中学生 SDGs コレクションについて ・峰山小学校の閉校について ・静岡聖光学院中学校・高等学校の視察結果について ・第2回からだところのアンケート集計結果と考察について ・いじめ重大事態の報告について
16	1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度全国学力学習状況調査の実施について ・管理職登用の方針及び統括校長の配置について
17	3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 コロナ禍に対応した学校運営の実施報告 ・いじめ重大事態の報告について
18	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 コロナ禍に対応した学校運営の実施報告② ・令和2年度 学校図書館支援室の取組について ・令和2年度 静岡型小中一貫教育の進捗状況について ・令和2年度 静岡型小中一貫コミュニティ・スクールの進捗状況について

(2) 総合教育会議

総合教育会議は、平成27年4月1日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）が施行されたことに伴い、平成27年度から設置された市長が主宰する会議である。市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進することを目的として実施している。



総合教育会議

令和2年度は、協議テーマ「ICT教育の推進」「外国につながる子どもたちの支援体制の充実」と、検証テーマ「不登校対策の推進」「子どもの貧困対策」について協議した。

協議した内容は、令和3年度には、情報教育支援室の新設、ICT支援員の配置、日本語指導教室及び訪問指導体制の強化、小学校の別室指導体制の整備、スクール・サポート・スタッフの全校配置、学力アップサポート事業の拡充などの形で実現することとなった。

今後も、総合教育会議を通じて、市長と連携し、喫緊の教育課題の解決に取り組みたい。

【令和2年度 総合教育会議 議事及び協議の概要】

回数	議事	協議の概要
第1回 7月31日	協議事項：現状の施策と今後の取組について協議した。	
	① ICT教育の推進	教育にICTを取り入れ活用していくにあたり、本市特有の課題に対する“静岡市らしい”取組や子どもたちの育成の可能性について協議した。
	② 外国につながる子どもたちの支援体制の充実	「多文化共生のまち」実現のための日本語教育推進のビジョンと工程について、市の全体像を共有した。
	③ 不登校対策の推進、子どもの貧困対策	平成30年度に協議した不登校対策について、別室指導の充実、適応指導教室でのICT教材活用、訪問教育相談員の配置等について報告した。 また、平成28、29年度に協議した子どもの貧困対策について、相談窓口等の充実と関係機関の連携、生活困窮世帯などに対する経済的支援、子どもの学びの支援と居場所づくり等を報告した。
第2回 10月12日	協議事項：第1回会議の委員の意見を確認し、取り組むべき方向性等について協議した。	
	① ICT教育の推進	令和3年度は「全ての学校でICTを活用した授業に取り組む」ことを目標に、情報教育支援室の新設やICT支援員の配置、モデル校での遠隔授業の実証研究等に取り組むことを確認した。
	② 外国につながる子どもたちの支援体制の充実	「多文化共生のまち」実現に向け、日本語指導教室の指導時間数の増加、訪問指導員の増員、日本語指導の内容や流れを紹介するリーフレットの作成等に取り組むことを確認した。
	③ 不登校対策の推進、子どもの貧困対策	不登校対策については小学校の別室指導体制の整備や訪問教育相談員の拡充等、子どもの貧困対策については学力アップサポート事業の実施校増加、自閉症・情緒障害学級の非常勤講師増員等について取り組むことを確認した。

(3) 各種会議等への出席、学校訪問、意見交換会の実施など

教育委員は、年間を通じて、国、指定都市、県、各種団体が行う協議会等に参加し、教育課題の把握・情報収集や関係機関との連携強化を図っている。また、学校現場の視察や関係機関との意見交換を積極的に行い、本市教育理念の浸透を図るとともに、多方面からご意見をいただき、教育施策に具体的につなげるよう努めている。

令和2年度は、総合教育会議の協議テーマ「ICT教育の推進」及び「外国につながる子どもたちの支援体制の充実」の具体的な施策の検討を行うため、ICTを活用した授業の視察のほか、日本語指導教室の視察など小学校5校を訪問した。

令和2年10月には南部小学校を視察した。

ICTを活用した授業では、1人1台整備されたコンピュータ端末で個人の意見をまとめてグループでの話し合いを行うなど、授業のネットワーク化が実現されている様子が伺えた。

また、ICT支援員により、円滑な指導及び児童へのきめ細やかなサポートが実現していた。



ICTを活用した授業の視察（駿河区 南部小学校）

令和2年11月には森下小学校を視察した。

校内には、「日本の文化を発信しよう」と題して関連する本を紹介するコーナーが設置されていた。

日本語指導教室では、児童がグループに分かれて学校生活に直結する言葉をはじめ、漢字や文法などを指導員から学んでいた。



日本語をゲーム方式で学んでいる様子（駿河区 森下小学校）

「移動教育委員会」では、教育委員と社会教育委員による“学校教育と社会教育の連携”についての意見交換会を開催した。

その後、学校と地域をつなぐコーディネーター役を担う人材の育成を目的に「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」の専門課程として教育委員会で開講した「“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座」を実施した。

ワークショップでは、「次代を担う子どもを育てるために、連携推進役として何ができるのか」をテーマに、同講座受講生との意見交換を行った。

「うちの地域では、どういう子どもに育ててほしいか（願う子ども像）」の共有や、テーマについて話し合うことにより、地域の課題やコーディネーターの役割の重要性を確認し合った。

また、終了後の閉講式では4期生18名に修了証書を授与した。



“学校・地域 ひとつなぎ” コーディネーター養成講座での意見交換会
(静岡市産学交流センター)

【各種会議等への出席、学校訪問、意見交換会などの実施状況】

月	日	分類	内容
4	8	行事	玉川小中学校開校式
6	7	行事	しずおか教師塾第11期生卒業式
	16	意見交換	学識経験者との意見交換会（教育委員会の点検・評価）
10	8	視察	学校視察（南部小学校）
	17	行事	しずおか教師塾第12期生入塾式
	22～23	その他	教頭選考（第2次・面接）
11	9、18	その他	校長選考（第2次・面接）
	12	視察	学校視察（森下小学校）
12	8	視察	学校視察（清水南高等学校・中等部）
	9	視察	学校視察（清水小島小学校）

12	10	視 察	学校視察（静岡聖光学院中学校・高等学校）
	14	意見交換	移動教育委員会（静岡市産学交流センター） （“学校・地域 ひとつなぎ” コーディネーター養成講座 公開講座）
	17	視 察	学校視察（清水有度第二小学校）
1	9	行 事	静岡市中学生SDG s コレクション（エスパルスドリームプラザ）
	18	視 察	学校視察（清水三保第二小学校）
	28	視 察	学校視察（東中学校）
3	3	会 議	静岡型小中一貫教育 教育課程等協議会

3 総括（教育委員会の自己評価）

(1) 教育委員会会議

静岡市教育委員会では「静岡市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成29年4月1日施行）」に基づき、教育長が委任された事務について迅速な意思決定と執行ができる体制が確立されている。これにより、教育委員会会議で取り扱う議案件数は減ったものの、教育長に委任された事務については適時その状況の報告が行われている。

定例会等の会議の開催にあたっては、各委員は、会議前に、事務局から議案等に関する説明及び資料提供を受け議案の内容を予め確認し自らの考えをまとめておくことなどにより、それぞれの経験に基づく視点から活発に発言し、丁寧な審議を行っている。

令和2年度の主な議案として、「令和3年度使用 静岡市立の中学校用『全ての教科』教科用図書の採択について」が挙げられる。

教科用図書の採択については、「特別の教科 道徳」の教科化及び学習指導要領の改訂に伴い、平成29年度から令和2年度までの4年間に渡り毎年実施した。令和2年度は、中学校で使用する教科用図書について採択を行った。採択にあたっては、静岡市における学校、生徒、地域等の特性と生徒の目線を踏まえ、「学校経営の視点」「学習指導の視点」「保護者の視点」の3つの視点で採択候補者の選定をするよう教科用図書検討委員会に諮問し、その答申をもとに採択した。採択にあたっては、教育委員が見本本の閲覧、教科書採択に伴う勉強会、教科用図書検討委員会の傍聴及び教育委員会協議会での意見交換等により事前の調査研究を深め、採択に臨んでいる。教科用図書採択については市民の注目度が高く、令和2年7月定例会（7月27日）の傍聴者は31名であった。

このほか、教育委員会が所管する施設に係る条例改正などについて地教行法第29条に基づく教育委員会の意見聴取を行った。

(2) 教育委員会協議会、視察、その他の活動

協議会については、教育委員が自らテーマを設定して課題研究を行うほか、喫緊の課題が生じた際には即時対応するための協議を行うなど、柔軟な運営に努めている。令和2年度は、特に教科用図書の採択や小中一貫教育の推進に関する調査研究等に注力した。

視察関連では、小学校におけるICTを活用した授業や英語の授業、日本語指導教室などの視察のほか、先進的な取組を行っている静岡聖光学院中学校・高等学校の視察を行った。同学校では、全教室にカメラや大型ディスプレイなどを整備し、教室での授業のみならず、オンラインでの授業も実践する等、ICTを積極的に取り入れた教育を行っている。こうしたICT教育に対応した環境整備により、災害時や登校困難な生徒への対応、国内外の学校

や企業とのつながりを持った授業を行うなど、学習活動が充実している様子が伺えた。静岡市においても、ICTを活用できる教育環境の整備により、子ども一人一人のニーズに応じた効果的な指導の実現に向けた取組を進めたい。

また、「静岡型小中一貫教育強化期」となる令和2年度は、令和4年度の全市一斉スタートに向けた準備を加速する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各グループにおける実践が困難な状況であった。そのため、児童生徒の交流や地域連携等については、本来の計画通りには進められなかったものの、ICTの活用や会合の形式変更等により、可能な限りの取組を進めることができた。今後は地域住民の意見をさらに取り入れ、教育構想の検証、見直しを行い、その地域ならではの小中一貫教育のさらなる充実を図っていく。